

第307回 コンクリートセミナー

時代の変革に求められる セメント・コンクリート技術の最新の話

主催 一般社団法人セメント協会

後援 (公社)土木学会中部支部、(一社)日本建築学会東海支部、(公社)日本コンクリート工学会中部支部、(公社)地盤工学会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)愛知県建設業協会、全国生コンクリート工業組合連合会東海地区本部、NPO住宅地盤品質協会

趣旨 少子・高齢化が進む中、将来の労働力不足を見据えた持続可能な社会を構築することが火急に求められています。施工や維持管理の技術はIoT等の導入によって日進月歩で進化し、高品質なコンクリート構造物が着実に建設され始めています。その一方で建設工事に伴う環境問題など、新たに解決すべき課題も散見されます。本セミナーではこれらの事業や課題に真正面から取り組む最前線の技術者・研究者5氏を招聘して語って頂きます。この機会にご聴講下さいませようご案内致します。

●日時 2018年3月8日(木) 9:25~16:00
●場所 ホテル ルブラ王山 2階・飛翔の間
〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通8-18
●定員 200名(定員になり次第締切させて頂きます)
●受講料 1名あたり10,000円(税込)・テキスト代込み
●申込先 受講ご希望の方は、2018年2月26日(月)までに、

- ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。
- ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名)：一般社団法人セメント協会、口座番号：00100-1-586562へお振込みください。

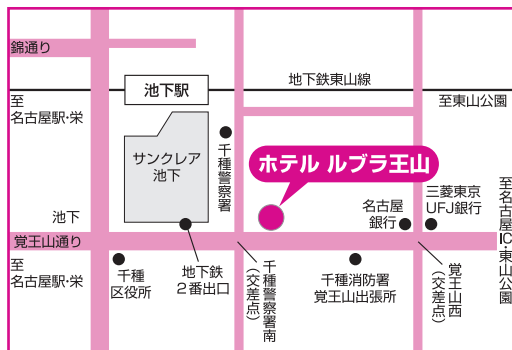
また、銀行振込希望の方は、受講申込書一番下の銀行振込に○をつけてお申込ください。

①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。

●連絡先 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
一般社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062

●CPD 土木学会認定CPDプログラム(JSCE17-1258 5.2単位)
●CPDS 全国土木施工管理技士会連合会認定CPDSプログラム(447454 5単位)

●会場



◎名古屋駅より地下鉄東山線で13分
地下鉄東山線池下駅下車 2番出口(サクラア池下地下1階)より徒歩3分

講演

[開会挨拶] 一般社団法人セメント協会 常務理事 藤原 要 9:25 ~ 9:30

1 長寿命構造物と生産性向上 9:30 ~ 10:30

100年程度使われ続けているコンクリート構造物は、鉄道には多く存在している。劣化には原因がある。原因は取り除くことができるので、ほとんどの構造物は長寿命になると思われる。原因の多くは、設計、施工にある。さらに、品質を確保しながら、生産性向上を進めるための技術の方向性について述べる。

キーワード：長寿命構造物、劣化原因、劣化原因への対応、生産性向上

ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社 取締役 石橋忠良氏

2 骨材の寸法安定性からみたコンクリートにおける骨材の役割 10:40 ~ 11:40

普通強度のコンクリートにおいて、体積の7割程度を骨材が占める。そのため、骨材の物性、特徴、構成する鉱物などによって、コンクリートはさまざまに変化する。本講演では特に骨材の寸法安定性に着目し、コンクリートの物性とどのような関係にあるのか、さまざまな環境に置かれることを想定した近年の研究事例を紹介しながら、今後の展望を示す。

キーワード：骨材、寸法安定性、コンクリートの強度、剛性、体積変化

名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 丸山一平氏

3 コンクリート構造物の景観 12:50 ~ 13:40

コンクリートは型枠さえあればどんな形態でも成型でき、また表面に細工を加えることができる。これらの利点を生かして形状を工夫したり、自然の美の中にコンクリート構造物を溶け込ませたりすることにより、良好な景観を作り出すことができる。ここでは、これらコンクリート構造物の景観形成の手法について論じる。

キーワード：景観法、景観形成、コンクリート構造物、型枠、表面形状

名古屋工業大学大学院 社会工学専攻 教授 梅原秀哲氏

4 コンクリート施工の生産性向上の取組み 13:50 ~ 14:50

国土交通省では i-construction を掲げて、将来に向けて建設現場の省人化、生産性向上を推進している。その具体的な動きとして、「流動性を高めたコンクリートの活用に関するガイドライン」が発刊され、また、土木学会から「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関わる提案」が発刊されている。このような取組みについて解説する。

キーワード：i-construction、建設現場の省人化、生産性向上、コンクリートの流動性

鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部長 坂田 昇氏

5 発生土の利用と自然由来物質 - 動向と課題 - 15:00 ~ 16:00

自然由来の重金属等を含む発生土の問題が近年よく取り上げられるようになってきている。2017年 5月には土壌汚染対策法の一部改正が国会で可決され、自然由来の重金属等の問題に関してリスクに応じた合理化の方向に舵が切られた。改正法の施行を控え、技術的留意事項を中心に動向と課題について解説する。

キーワード：発生土、自然由来、重金属、有効利用、セメント系固化工材

京都大学大学院 地球環境学堂 教授 勝見 武氏

第307回 コンクリートセミナー 受講申込書

●セメント協会普及部門宛 (FAX. 03-5200-5062) にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. - - FAX. - -

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。
●受講料は 郵便振込・銀行振込 致します。(どちらかに○をつけて下さい。)

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。